

心理学・教育学委員会・言語・文学委員会・哲学委員会・社会学委員会・史学委員会・地域研究委員会・情報学委員会合同
デジタル時代における新しい人文・社会科学に関する分科会（第25期・第2回）
議事要旨

日時：令和3年7月3日（土）19:00-21:00

会場：オンライン（Zoom）

出席者：川嶋四郎 佐藤嘉倫 西田眞也 矢野桂司 隠岐さや香 奥田太郎 木部暢子 黒木英充 近藤康久 下田正弘 永崎研宣 橋本隆子（名簿順、敬称略）
（オブザーバ・次回から委員）金水敏 太平英樹（オブザーバ）小長谷有紀 溝端佐登史 二瓶稔之

議事

（1）新規参加者の自己紹介

新規参加者による簡単な自己紹介が行われた。

（2）前回議事要旨の確認

前回議事要旨の確認を行った。

（3）第25期の活動計画

1. オブザーバーの参加の可否について、委員長の判断に一任することが確認された。
2. 委員によるアンケートを踏まえ、今年度の活動計画について永崎委員長から提案があった。

2ヶ月に1度のペースで分科会を実施し、1月にはシンポジウムを行うことが提案された。9月の会合については日本語コーパスを主なテーマとして採り上げることが決まり、それ以降の内容については改めて検討ということになった。

（4）その他

3. 融合的研究の可能性について西田副委員長よりプレゼンテーションが行われた。Digital Human Twinsについての研究が紹介された。
4. データ駆動型研究に関わる最近の動向について永崎委員長から報告が行われた。

日本学術振興会の人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業の近況、および、科学技術・学術審議会学術分科会 人文学・社会科学特別委員会（第7回）におけるデータ駆動型人文学・人文学DXについての議論が報告された。

5. 最後に全体ディスカッションが行われ、データインフラの構築やその活用可能性、そこにおける社会制度や倫理的な側面など、様々な角度からデジタル時代の人文社会科学についての議論が行われた。